

# 2012年度 決算説明会

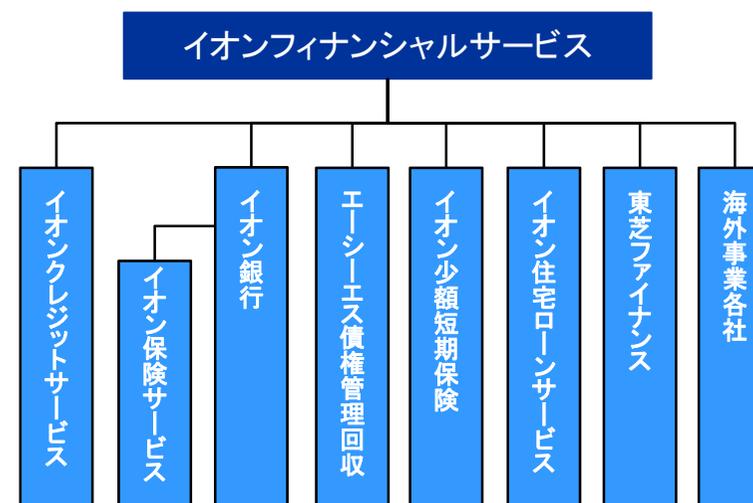
## イオンフィナンシャルサービス株式会社

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確実要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

2012年度の前期比は、2012年2月21日～2013年3月31日と2011年2月21日～2012年2月20日と比較しております。

## イオンフィナンシャルサービスの組織体制

■ 4月1日に会社分割を行い、銀行持株会社体制へ移行



## 経営成績

- 会員募集、提携先との共同企画実施により、連結取扱高は4兆2,488億円(8,850億円増)
- 連結経常利益は334億円(前期比137%、公表差9億円増)

連結	実績	前期比	公表数値	公表差
取扱高	4兆2,488億円	126%	3兆7,000億円	+5,488億円
営業収益	2,060億円	121%	1,960億円	+100億円
営業利益	331億円	136%	325億円	+6億円
経常利益	334億円	137%	325億円	+9億円
当期純利益	136億円	151%	138億円	△2億円

単独	実績	前期比	公表数値	公表差
取扱高	3兆8,588億円	126%	3兆4,000億円	+4,588億円
営業収益	1,300億円	111%	1,230億円	+70億円
営業利益	170億円	127%	155億円	+15億円
経常利益	195億円	129%	177億円	+18億円
当期純利益	111億円	145%	110億円	+1億円

(経営数値は億円未満四捨五入)

## 決算日変更及びイオン銀行連結化に伴う影響

- 旧イオンクレジットサービスの連結業績は営業収益1,863億円、営業利益312億円

	旧イオンクレジットサービス		3/1-3/31 決算日変更	イオン銀行 第4四半期	2012年度(連結消去後)	
	連結実績	前期比			実績	前期比
営業収益	1,863億円	110%	106億円	111億円	2,060億円	121%
営業利益	312億円	129%	10億円	36億円	331億円	136%
経常利益	314億円	130%	10億円	36億円	334億円	137%
当期純利益	130億円	145%	4億円	33億円	136億円	151%

(経営数値は億円未満四捨五入)

## セグメント別業績

- クレジット事業は、カードショッピングが順調に推移し、営業収益は1,117億円(前期比110%)
- 海外事業は新たな地域への展開や、事業領域拡大により増収増益
- 銀行事業は営業ネットワーク、預金口座数が拡大し、中核事業が順調に推移

	営業収益		営業利益	
	実績	前期比	実績	前期比
クレジット事業	1,117億円	110%	206億円	125%
フィービジネス	269億円	158%	18億円	19億円増
海外事業	620億円	118%	135億円	122%
銀行事業※	95億円 (380億円)	- (131%)	13億円 (59億円)	- (24億円)
セグメント間消去等	△43億円	-	△41億円	-
連結業績	2,060億円	121%	331億円	136%

(経営数値は億円未満四捨五入)

※銀行事業の下段数値は、イオン銀行単独の通期経常収益及び経常利益を記載しております。

5

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## セグメント別業績(四半期推移)

- フィービジネスは、電子マネー事業、イオン住宅ローンサービスの業容拡大により黒字化
- 銀行事業は、第4四半期にイオン銀行の業績を反映

(単位:億円)

営業収益	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		年度合計	
	実績	前期比								
クレジット事業	238	101%	243	98%	245	86%	391	155%	1,117	110%
フィービジネス	54	136%	64	149%	57	136%	94	206%	269	158%
海外事業	144	113%	145	112%	150	118%	181	130%	620	118%
銀行事業	90	150%	90	94%	109	152%	91	149%	380	131%
セグメント間消去等	△3	-	△3	-	△3	-	△34	-	△43	-
連結業績	433	109%	450	108%	450	99%	727	169%	2,060	121%

営業利益	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		年度合計	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
クレジット事業	35	118%	37	98%	47	103%	87	170%	206	125%
フィービジネス	4	+6	7	+7	3	+3	4	+3	18	+19
海外事業	31	124%	28	105%	34	123%	42	133%	135	122%
銀行事業	11	487%	7	△28	11	167%	30	+39	59	168%
セグメント間消去等	△8	-	△4	-	△8	-	△21	-	△41	-
連結業績	62	138%	68	118%	76	118%	125	165%	331	136%

(経営数値は億円未満四捨五入)

※銀行事業はイオン銀行単独の経常収益及び経常利益を記載しております

6

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 財政状態

- イオン銀行連結化により預金残高1兆2,201億円を計上し、総資産は2兆5,342億円
- 月末の加盟店精算資金の増加及び為替の影響により借入金約1,000億円増加
- 4月末時点の連結有利子負債は、約6,400億円と期首より1,540億円減少

	連結		イオンクレジットサービス(単独)	
	実績	期首増減	実績	期首増減
総資産	2兆5,342億円	+1兆6,265億円	9,613億円	+3,024億円
営業債権残高 (流動化含む)	1兆2,589億円	+2,176億円	8,666億円	+1,245億円
銀行業貸出金残高	7,068億円	-	-	-
預金残高	1兆2,201億円	+1,034億円	-	-
有利子負債	7,932億円	+2,759億円	5,416億円	+2,144億円
純資産	2,589億円	+770億円	2,023億円	+633億円
自己資本比率	9.1%	△8.4%	21.0%	△0.1%
(BIS基準)	10.6%	-	-	-

※預金残高はイオン銀行単独数値

7

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 2012年度レビュー

### ①国内事業

- 2012年 1月 ・イオン住宅ローンサービス(旧東芝住宅ローンサービス)を連結子会社化  
 3月 ・自己株式の取得及びアジア事業の更なる加速のため、転換社債を起債  
 4月 ・自社株買い消却(1,266万株)  
 2013年 5月 ・東芝ファイナンスを連結子会社化

### ②海外事業

- 2012年 6月 ・中国統括会社(香港)を設立し、中華圏での事業展開を加速  
 8月 ・タイ事業を再編し、保険代理店・サービス事業をタナシナップの連結子会社化  
 9月 ・中国天津でクレジット事業を開始  
 2013年 2月 ・インド(ムンバイ)にて分割払い事業を開始  
 3月 ・フィリピンにてシステム開発事業に加え、ファイナンス事業を開始  
 4月 ・深圳にて分割払い事業を開始

### ③イオン銀行との経営統合

- 2012年 9月 ・経営統合を発表  
 11月 ・臨時株主総会を開催、株式交換比率についてご承認  
 2013年 1月 ・イオン銀行を完全子会社化  
 2月 ・臨時株主総会を開催、会社分割の内容についてご承認  
 3月 ・経営統合記念配当5円の実施  
 4月 ・銀行持株会社 イオンフィナンシャルサービス発足

8

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 業容について

- 連結有効会員数は3,185万人(+209万人)、国内会員数は2,224万人(+123万人)
- 連結稼働会員数は1,784万人(+137万人)、国内稼働会員数は1,372万人(+104万人)
- 口座数は306万口座(+47万口座)、内イオンカード<sup>®</sup>セレクト会員数は195万人(+42万人)

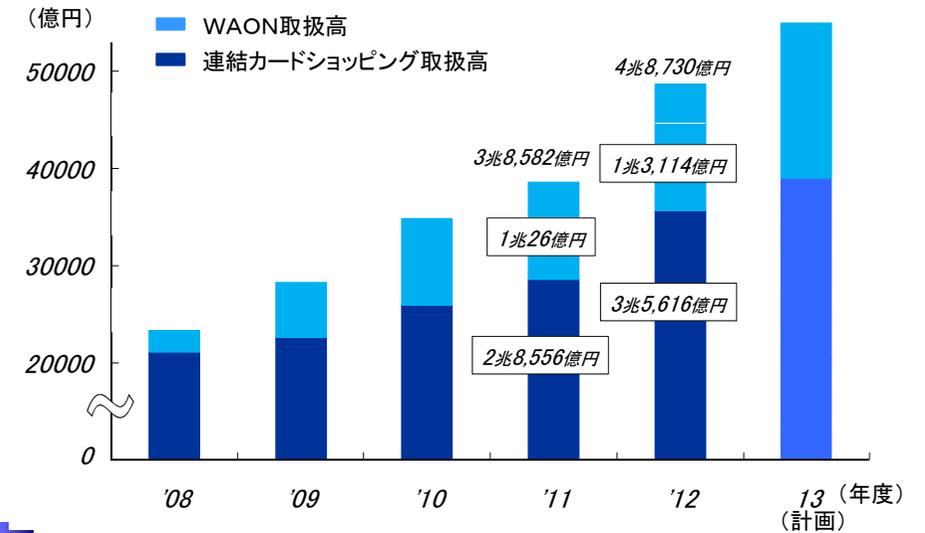
	2011年度	2012年度	期首比
連結有効会員数	2,976万人	3,185万人	+209万人
国内会員数	2,101万人	2,224万人	+123万人

連結稼働会員数	1,647万人	1,784万人	+137万人
国内稼働会員数	1,268万人	1,372万人	+104万人

口座数	259万口座	306万口座	+47万口座
イオンカードセレクト	153万人	195万人	+42万人
銀行店舗数	81店舗	105店舗	+24店舗
A T M 台数	1,943 台	2,680 台	+737 台

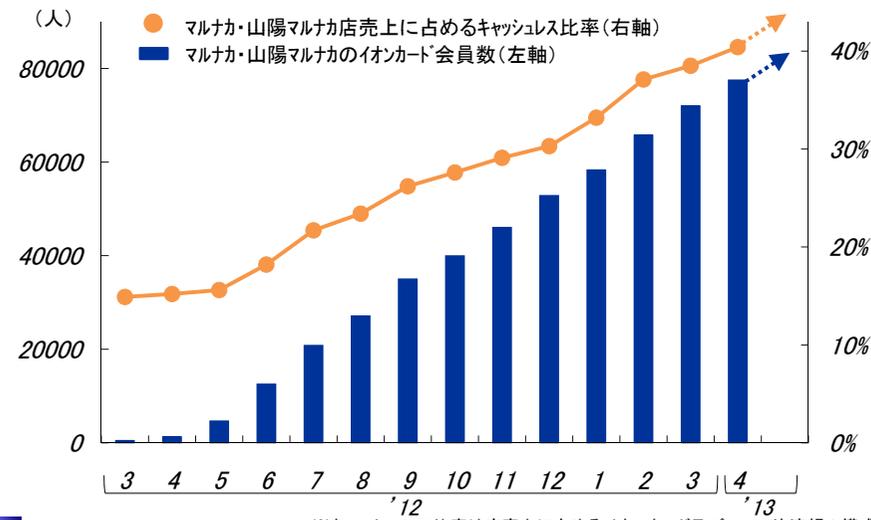
## カードショッピング(連結)及びWAON取扱高の拡大

- カードショッピングとWAON取扱高合計は、前期より1兆円増加し4兆8,730億円(前期比126%)



## グループ営業フィールドの拡充

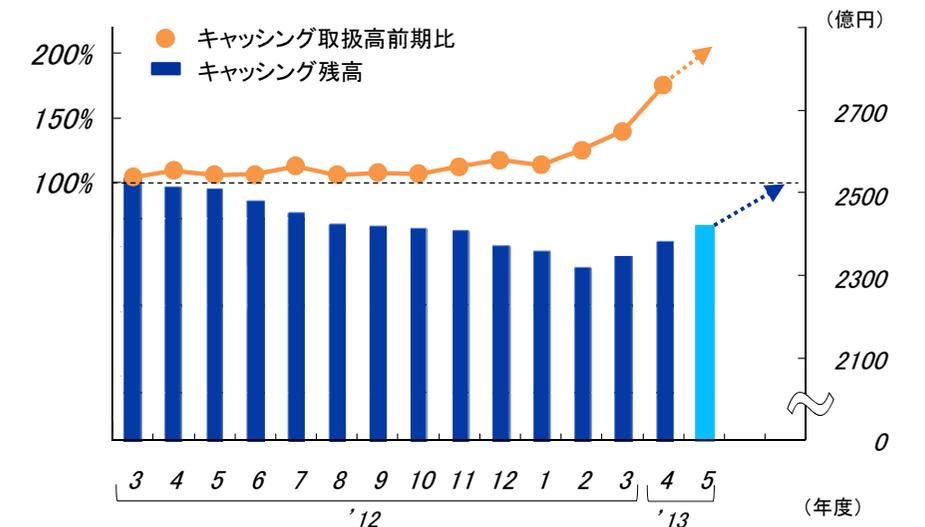
- マルナカ・山陽マルナカでの店売上に占めるキャッシュレス比率は40%まで上昇
- 2013年度はイオンアプリ、イオンマーケット、ダイエー等、取扱高の増加を見込む



※キャッシュレス比率は店売上に占めるイオンカード及びWAON決済額の構成比

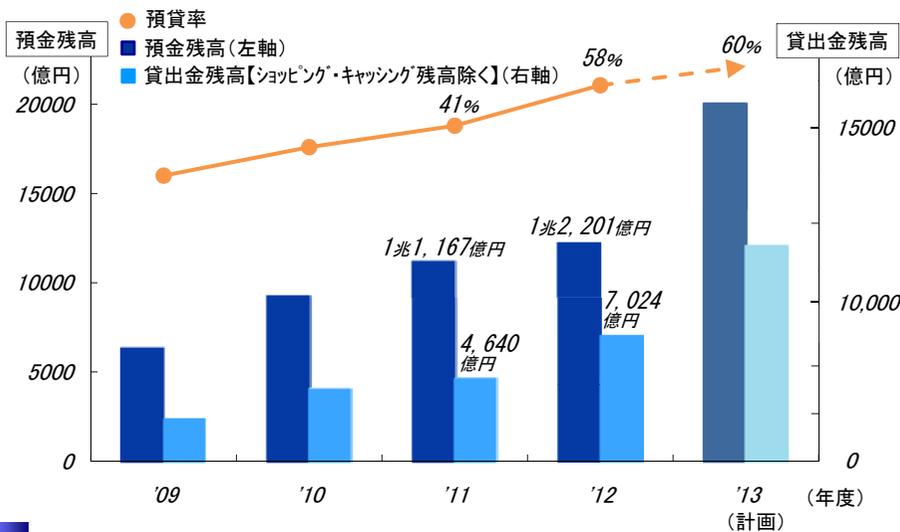
## キャッシング取扱高・残高の回復

- 会員数拡大、ATMでの随時返済払等の利便性向上により、取扱高は2月より大幅に回復
- キャッシング残高は3月度から回復。期末残高は2,800億円(期首比+440億円)を計画



## イオン銀行の業務推移

- イオンカードセレクトの預金金利優遇により、当期の預金残高は1兆2,201億円(前期比109%)
- 貸出金は住宅ローン及び無担保ローン残高の拡大により7,024億円(前期比+2,384億円)
- 2012年度の預貸率は58%、預貸資金利鞘は1.8%から2.0%に上昇



## 経営統合キャンペーンの実施

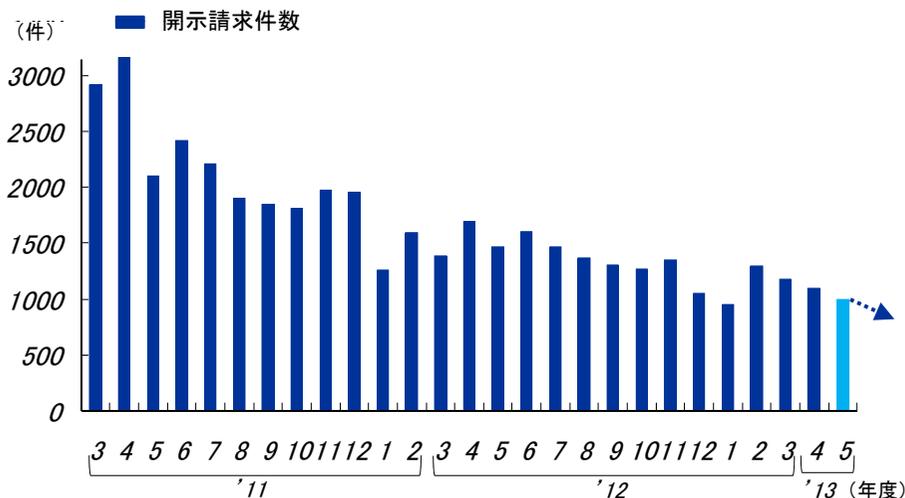
- 3か月物定期預金金利2%企画により、4万人受付で預金残高930億円と順調に推移
- 新たにイオンカードセレクト会員2万人を獲得
- 銀行店舗全店でのカードローン受付開始により、4月度受付件数は前期より12倍の8,000件

【2%定期金利キャンペーン】

【カードローンキャンペーン】

## 開示請求件数の推移

- 2012年度の開示請求件数は前期比72%と継続して減少
- 2012年度上期は9,200件(前期比63%)、下期は8,300件(前期比69%)、直近4月度は1,100件、5月度では約1,000件(前期比59%)にまで減少



## 貸倒引当金及び利息返還損失引当金残高の推移(単独)

- 2011年度に長期延滞債権を前倒しで貸倒償却実施したことにより、債権内容が浄化
- 2012年度の貸倒引当金繰入額は80億円(前期比50%)、引当率3.2%(期首比-1.2%)

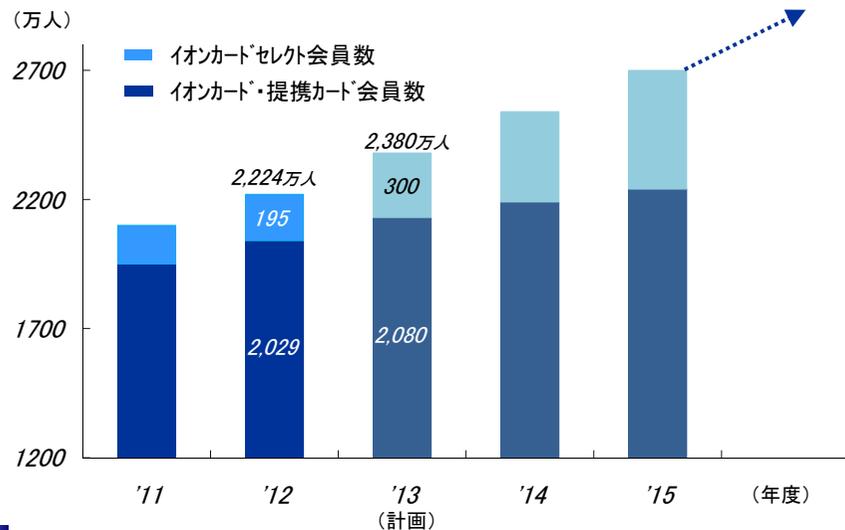
	2011年度	2012年度	2012年度	
期首貸倒引当金残高	468億円	327億円	個人破産	全額償却
貸倒引当金繰入額	160億円	80億円	延滞3カ月以上 法的整理債権	226億円
貸倒償却額	301億円	130億円	一般引当金 ※和解入金を含む	51億円
期末貸倒引当金残高	327億円	277億円	合計	277億円

貸倒引当率	4.4 %	3.2 %
実質貸倒コスト	461億円	210億円

利息返還損失引当金残高	92億円	37億円
-------------	------	------

## 2013年度重点実施事項 クレジットカード事業 国内会員数の拡大

- 提携先店舗、銀行店舗、インターネットでの募集強化により会員数は2,380万人(+156万人)
- イオンカードセレクト会員数は300万口座(+105万口座)に拡大



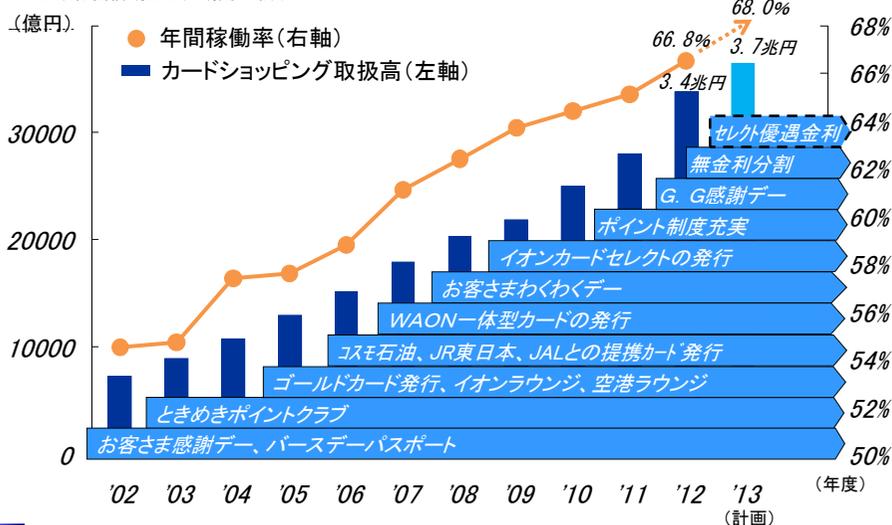
## クレジットカード事業 シニアシフトへの取り組み強化

- 55歳以上の方を対象としたGGイオンカードの発行を開始、稼働率、月間利用金額が上昇
- グラントジェネレーションズモール開設に伴ってGGメンバーカードを発行、年金口座を拡大

カード種類	55歳以上 通常イオンカード会員	GGイオンカード会員	GGメンバーカード セレクト
カード券面			
月間稼働率	31%	44%	グラントジェネレーションズ モール葛西オープンに 併せて発行開始
月間利用金額	29,000円	34,000円	
主な特典		毎月15日割引 毎月20、30日感謝デー割引 商品別WAONボーナスポイント 毎月5の付く日はポイント2倍	・映画館割引 ・カルチャークラブ受講料割引 ・フィットネスクラブ入会金無料 ・年金受取口座をイオン銀行指定で定期預金金利+0.1%

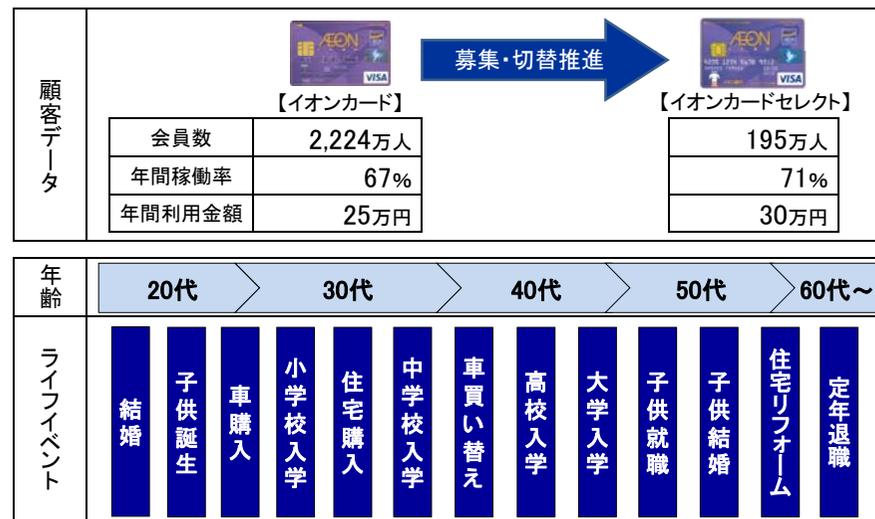
## クレジットカード事業 年間稼働率向上への取り組み

- 2013年度はイオンカードセレクトの定期預金金利優遇、子供預金等の新たな特典を導入
  - 取扱高は3兆7,000億円(前期比116%)、年間稼働率は68.0%(前期比+1.2%)を計画
- ※取扱高前期比は同期間で集計



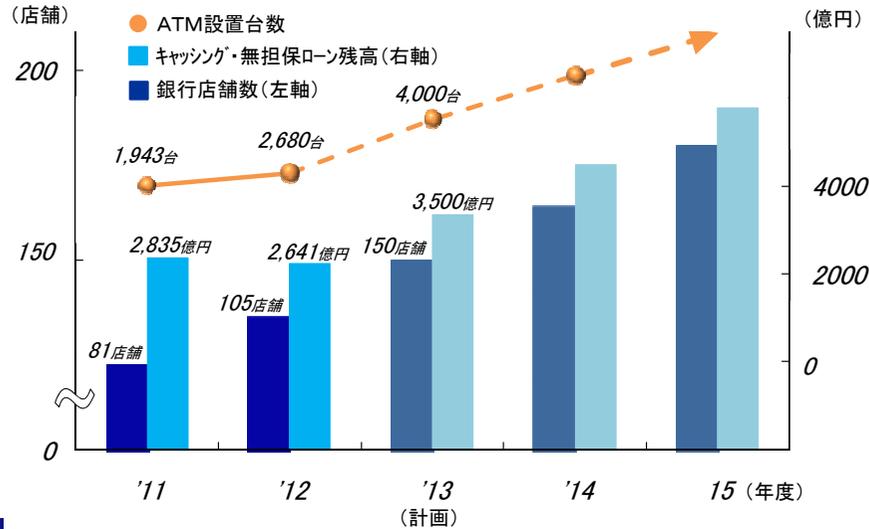
## クレジットカード事業 顧客データを活用したマーケティングの推進

- 稼働率の高いイオンカードセレクトの会員募集を強化
- ライフイベントに応じた各種金融サービスをご提案



## 銀行事業 営業ネットワーク拡充による銀行事業の強化

- ATM設置台数を4,000台(前期比+1320台)、銀行店舗数150店舗(前期比+45店舗)を計画
- 営業ネットワーク及びATMの機能拡充により、無担保・カードローン残高は3,500億円を計画



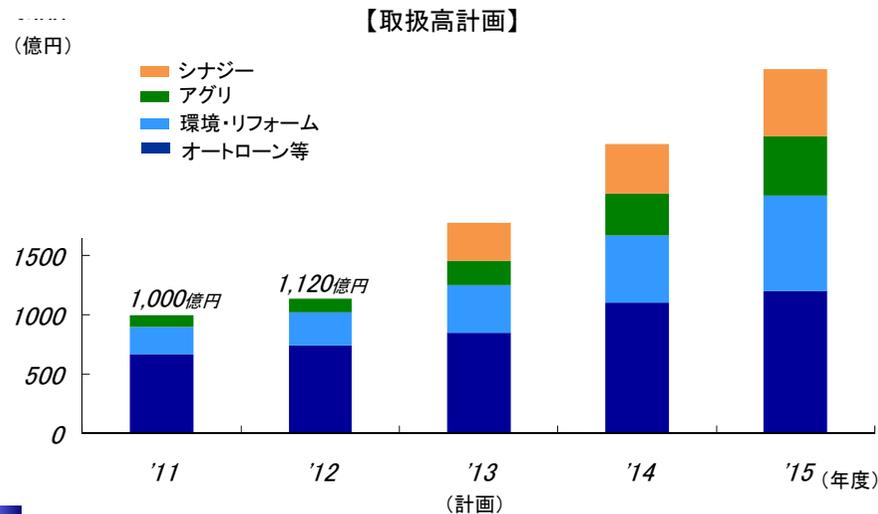
## クレジット事業 東芝ファイナンスの連結子会社化

- 東芝ファイナンスの連結化により、フルラインでの金融サービスを提供
- イオンフィナンシャルサービスでは、ガバナンス、リスク管理を強化

イオンフィナンシャルサービス			機能	
営業部門			業務	
事業	担当企業	取扱額	業務	担当企業
クレジットカード	イオンクレジットサービス	10~50万円	審査・回収コールセンター	イオンクレジットサービス
ソーラー・オートリフォーム	東芝ファイナンス	50~300万円	サービス	ACS債権管理回収
住宅ローン	イオン住宅ローンサービス	1,000万円~3,000万円	預金調達	イオン銀行
住宅ローン法人融資	イオン銀行	3,000万円~1億円		

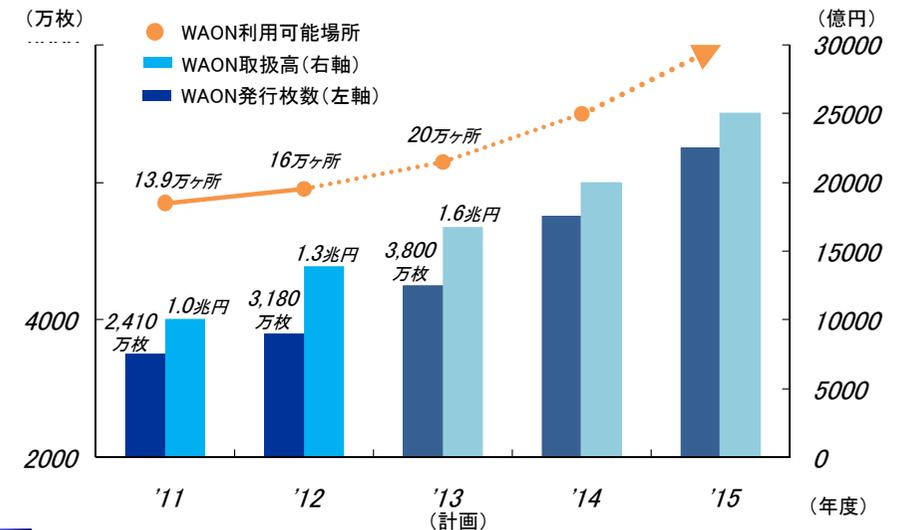
## クレジット事業 東芝ファイナンスとのシナジー

- グループ内のリフォーム・太陽光発電システム売場での個品割賦事業を拡大
- 重複部門を集約し、営業部門への人員シフトとローコストオペレーションを徹底



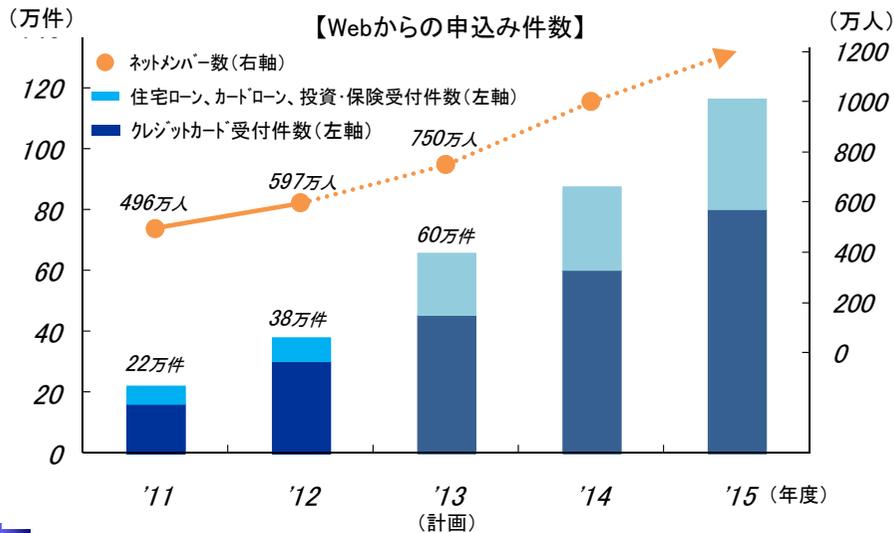
## フィービジネス 電子マネー事業の拡大

- 4月27日よりイオンマーケット全店へWAON導入、グループ友好企業の加盟店化を推進
- 発行枚数は3,800万枚(前期比+620万枚)、取扱高は1兆6,000億円(前期比122%)を計画



## フィービジネス ネット事業の推進

- ネットメンバーを750万人(期首比+153万人)に拡大
- ネットメンバー数の拡大により、Webからの住宅ローン・カードローン等の申込み受付を推進



## フィービジネス プロセッシング事業の拡大

- クレジットカード事業のインフラを活用し、グループ企業や外部企業からの受託を拡大

		2012年度	2013年度(計画)
事務センター		グループ企業からのコールセンター業務受託拡大	札幌コールセンター開設(4月)
		イオン銀行の口座開設等データ入力業務受託	九州地区への事務センター開設
信用保証・提携ローン		審査・回収体制の強化	他金融機関からの受託開始 ネット申込み強化及び店頭即時受付の開始
データ分析		購買情報に基づいたマーケティング強化	データ分析人員100名体制構築 イオン銀行情報を活用したデータベースマーケティング実施

## フィービジネス 保険代理店事業・少額短期保険事業の強化

- 保険ショップを130店(前期比+40店)に拡大し、保険販売強化。営業利益は23億円を計画
- プライベート保険の開発を強化し、2013年度少額短期保険事業は単年度黒字化を計画

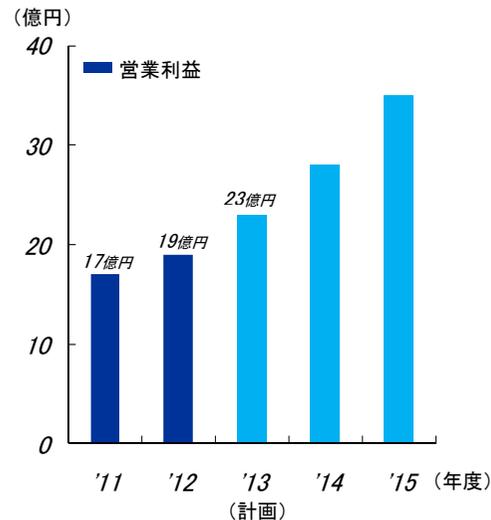
**重点実施事項**

AEON Insurance

**保険ショップの展開強化**

イオンの損害保険  
しんぶん  
イオンの健康保険  
AEON'S HEALTH INSURANCE

**プライベートブランド商品の開発**



## フィービジネス サービサー事業の展開

- 銀行持株会社の信用力を活かし、地銀等の金融機関からの業務受託拡大
- 営業利益は前期比2倍となる10億円を計画

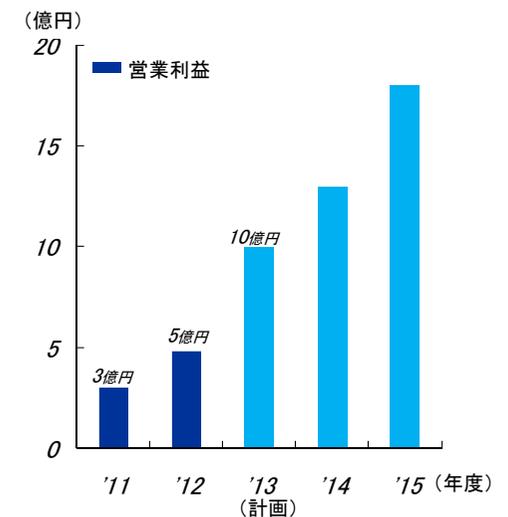
**重点実施事項**

地方銀行 保証会社  
農協 カード会社

金融機関からの受託

金融機関の業務提携拡大

回収体制の強化



## フィービジネス イオン住宅ローンサービスの取組み

- 3月より銀行代理業を開始、フラット35に加えイオン銀行変動金利ローンの取扱いを開始
- イオンクレジットサービスの営業拠点を活用し業者営業を強化。営業利益は21億円を計画

**重点実施事項**

AEON  
イオン住宅ローンサービス  
住宅ローン商品のご案内

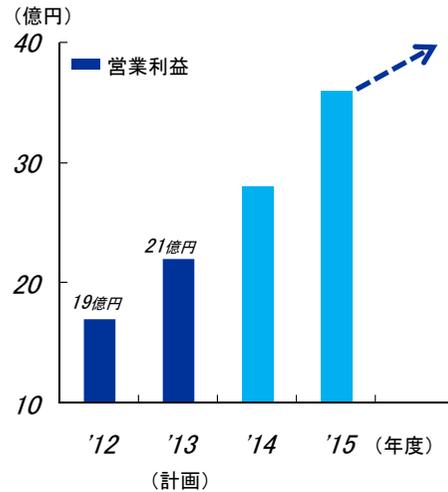
イオン【フラット35】

イオン【プラス】

【フラット35】リフォームバンク

http://www.aeonflat.jp

イオン銀行との連携による  
変動金利型住宅ローンの取扱拡大



## 香港を中心とした展開①

- 2012年度: 営業収益1,189百万香港ドル(前期比101%)、営業利益376百万香港ドル(前期比110%)
- 2013年度はモンゴルに駐在員事務所を設置



### 【イオンクレジットサービス(アジア)の業績】

(単位: 万人)

	2012年度	
	実績	前期比
会員数	116	+10

(単位: 百万香港ドル)

取扱高	7,724	111%
営業収益	1,189	101%
営業利益	376	110%
当期利益	316	110%

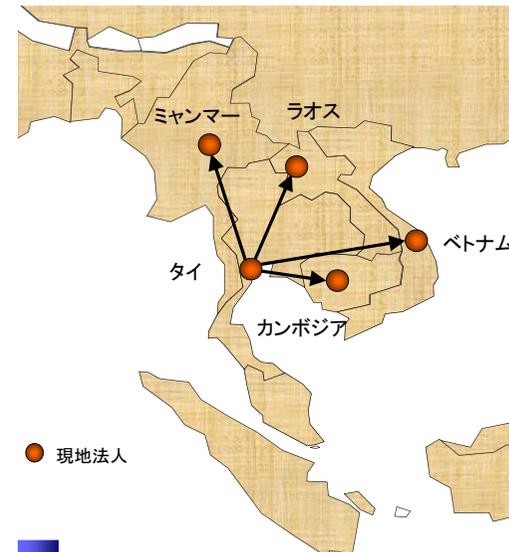
## 香港を中心とした展開②

- 香港: 非接触型ICカードを発行し、支払い機能を拡充
- 中国: 中国統括会社での人民元調達により、瀋陽、天津、深圳での分割払い事業を強化
  - : 北京での保証事業、深圳でのプロセッシング事業にて外部受託を強化
  - : 天津にシステム会社を設立し、中国での事業展開を加速
- 台湾: 地場金融機関との提携カード等、新規提携カードの発行推進
- モンゴル: 下期に駐在員事務所設立を計画

<b>香港</b> 添設有 pass 機能之AEON信用卡 	<b>瀋陽・天津・深圳</b> 	<b>北京</b> 
<b>深圳(プロセッシング事業)</b> 	<b>台湾</b>  ＜台北五信カード＞	<b>モンゴル</b> 

## タイを中心とした展開①

- 2012年度: 営業収益12,842百万バーツ(前期比111%)、営業利益2,414百万バーツ(前期比144%)
- 2013年度は5月度にミャンマー、6月度にラオスでの分割払い事業を開始



### 【イオンタナシナップ(タイランド)の業績】

(単位: 万人)

	2012年度	
	実績	前期比
会員数	669	+48

(単位: 百万バーツ)

取扱高	77,646	119%
営業収益	12,842	111%
営業利益	2,414	144%
当期利益	1,818	466%

## タイを中心とした展開②

- タイ : 航空・鉄道など交通系企業との提携カード募集強化により会員数を拡大
- ベトナム : ホーチミン、ハノイに加え、地方都市へ営業ネットワークを拡大
- カンボジア : 取扱高拡大により4月度に単月度黒字化を達成、加盟店1,000店舗を計画
- ミャンマー : 家電量販店等での加盟店開発を強化し、早期に500店舗体制を構築
- ラオス : 現地大手家電量販店と提携し、6月より分割払い事業を開始



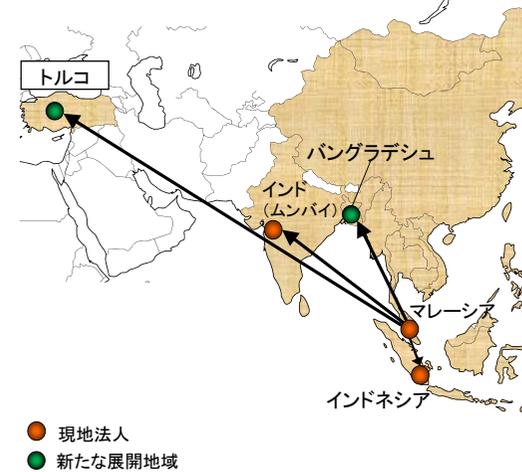
33

AEON Financial Service Co.,Ltd.

2012年度 決算説明会

## マレーシアを中心とした展開①

- 2012年度: 営業収益501百万リンギット(前期比136%)、営業利益181百万リンギット(前期比142%)
- 2013年度はイト<sup>3</sup>事業の展開サポートに加え、バングラデシュ、トルコへ駐在員事務所を開設



【イオンクレジットサービス(マレーシアの業績)

	2012年度	
	実績	前期比
会 員 数	113	+ 15
(単位: 万人)		
取 扱 高	2,467	149%
営 業 収 益	501	136%
営 業 利 益	181	142%
当 期 利 益	134	140%
(単位: 百万リンギット)		

34

## マレーシアを中心とした展開②

- マレーシア : イオンビッグ(旧カルフル)での会員募集を強化
- インドネシア: クレジットカードの発行を開始し、ハウスカードからの切り替えを促進
- インド : 分割払いでの金利、支払回数で他社との差別化を図りシェアを拡大
- バングラデシュ、トルコ: 駐在員事務所設立を計画



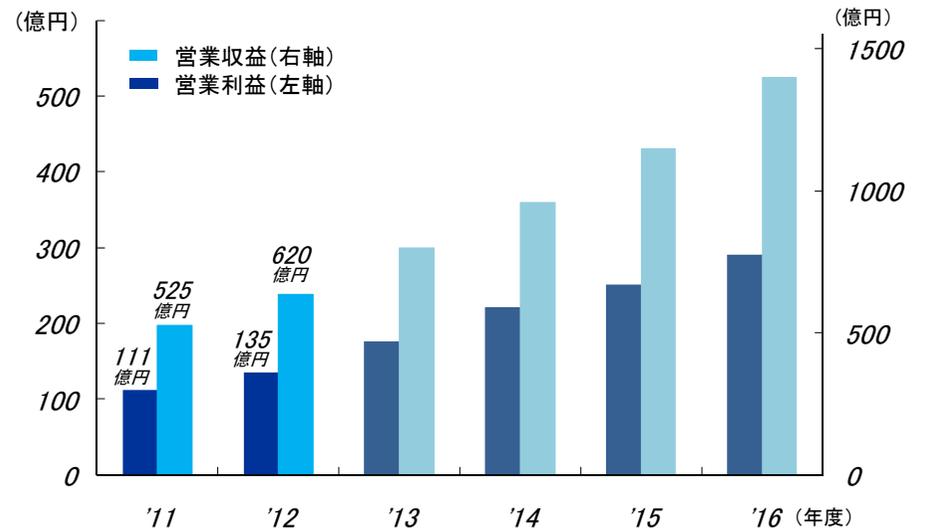
35

AEON Financial Service Co.,Ltd.

2012年度 決算説明会

## 海外事業の業績推移

- 2012年度の営業収益は620億円(前期比118%)、営業利益は135億円(前期比122%)
- 当期は、上場3社に加え、新規展開国での黒字拡大により最高益更新を計画



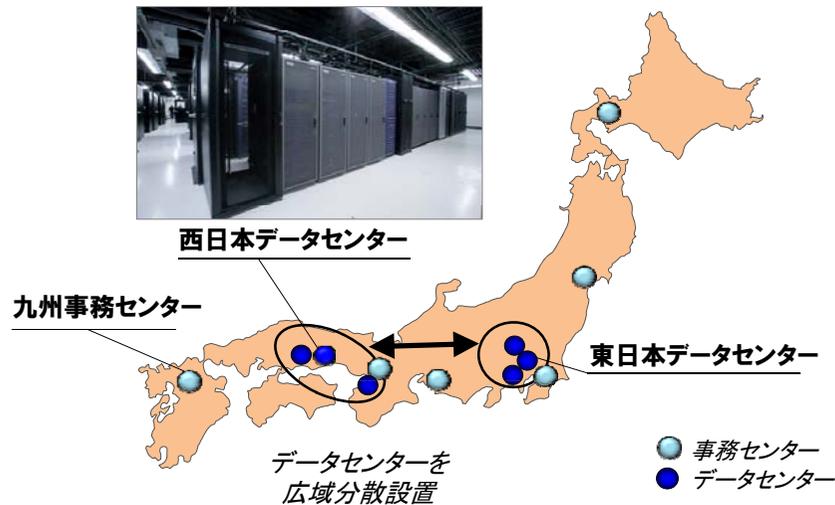
36

AEON Financial Service Co.,Ltd.

2012年度 決算説明会

## ディザスタリカバリーの強化

- 東日本データセンターに加え、大規模災害を想定し、11月に西日本データセンターを開設
- 札幌事務センターに続き、九州地区に事務センターを開設し、6事務センター体制を構築



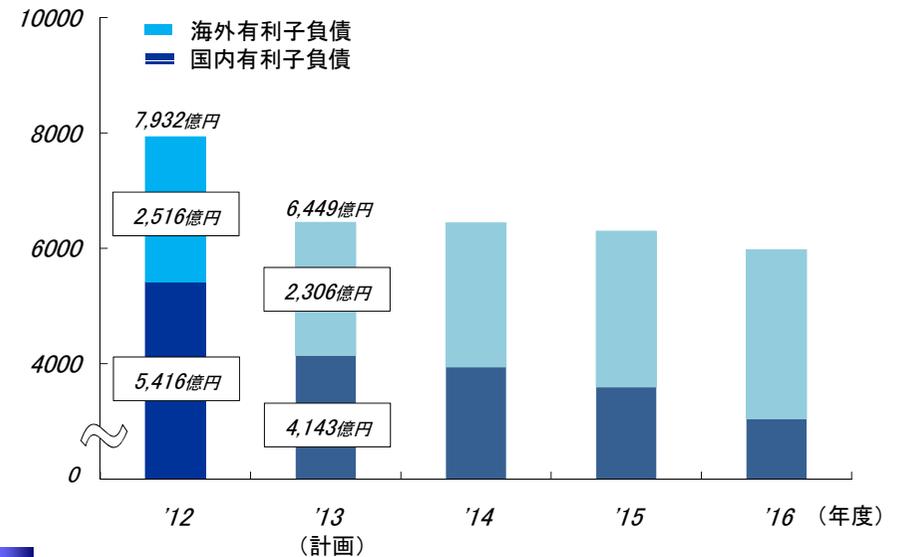
37

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 有利子負債の圧縮

- クレジットカード、提携ローン残高拡大により、銀行事業の貸出金を増加させ、有利子負債を圧縮



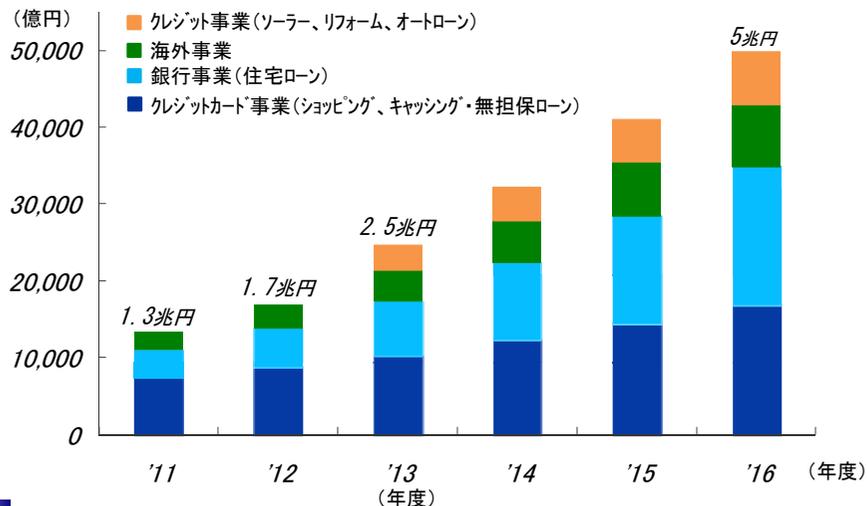
38

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 営業債権残高目標

- ソーラー・リフォーム等の提携ローン残高の拡大、海外事業は新規展開国でのクレジット事業の強化
- 銀行事業、クレジットカード事業は、営業ネットワーク及び会員数の拡大
- これらの取り組みにより、2016年度の営業債権残高目標は5兆円



39

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会

## 2013年度業績予想

- 2013年度は過去最高益を計画
- 年間配当金は、2012年度より10円増配の60円を予想

	2013年度 業績予想	
	2013年度	前期比
経常収益	2,200億円	107%
営業利益	440億円	133%
経常利益	440億円	132%
当期純利益	238億円	175%
1株当たり 当期純利益	127円11銭	144%

	第2四半期末	期末	年間
配当予想	25円	35円	60円

40

AEON Financial Service Co., Ltd.

2012年度 決算説明会